

たろう通信

こさい太郎(みなとかがやき)議員活動レポート

編集発行:こさい太郎を育てる会
共同編集:みなとかがやき
107-0062 港区南青山6-1-6-603B
Tel:5485-9111 Fax:5485-9100
e-mail:taro@kosaioffice.com
URL <http://www.kosaioffice.com/>

年頭に思うこと

こさい太郎の初夢

私の初夢…

実は、私は夢を見ても起きた瞬間に忘れてしまう性質で、残念ながら、全く覚えていません。ですから、年頭にあたり思いをめぐらせたことを書かせて頂きます。

最近の区役所は何かおかしい。

この2～3年、ある程度人口や税収も回復し、新たな施策展開への余裕があるはずなのに、新たな発想が生まれてこない。情報公開や説明責任、区民参加が時代の要請なのに、言葉だけで実行が伴わない。さらに、財政的余裕が出てきたとたん行政改革、つまり自己改革への動きが影をひそめてしまった。

私が、区役所の職員と個別に話しをする

と、同様の問題意識を持っている職員も多い。それなのに、区政改革への一歩を大きく踏み出せないのはなぜなのだろうか？私は、このようなときこそ、議会が大いにその役割を發揮しなければならないと考えている。一つは、大胆な政策提言、もう一つは、健全な視点からの区長のチェックである。私の立場が健全といえるかどうかは区民の方々の判断であるが、少なくとも、生活者であり主権者である区民の視点から、これら二つの役割をこれからも充分に果たしていこうと決意を新たにしている。

小齊太郎

1970年(昭和45年)1月16日東京・渋谷区生まれ、公立小学校から私立早稲田中学・高等学校に入学。1983年に港区南青山に転入。1993年早稲田大学社会科学部卒業。都議会議員秘書・代議士秘書を経て、1995年・港区議会議員選挙に立候補(新党さきがけ公認)、最年少で最高位当選。1997年新人議員3名で「みなとかがやき」を結成。1998年新党さきがけを離党、無所属に。1999年港区議会議員選挙に立候補、第9位にて当選。「みなとかがやき」幹事長として二期目の議会活動をスタート、現在に至る。

現在、総務常任委員会、防衛庁跡地等調査特別委員会所属。区議会だより編集委員。赤坂消防団第三分団員、東京六本木ライオンズクラブ幹事、南青山六・七町会役員、都市政策研究会(顧問:田中秀征氏)メンバーなど…
趣味は、草野球・ボーリング・ゴルフなど(すべてたいたことのない腕前なのですが…)

<p>小齊太郎の議会発言が新聞に取り上げられました</p>	<p>小齊太郎が行なった議会における区長に対する質問がローカル紙に取り上げられました。中面に掲載いたしましたので、ご一読の上、ご意見・ご感想を伺えれば幸いです。</p>
<p>議会報告は通信かがやきをご覧下さい</p>	<p>私の区議会での活動については、中綴じの「通信かがやき」をぜひご覧下さい。今回は特に、この4年間の政策提言とその取組み状況について掲載いたしました。</p>
<p>ホームページ稼動中です http://www.kosaioffice.com/ e-mail taro@kosaioffice.com</p>	<p>月に1回から2回更新しています。また、日記(週に一度くらいになっています)のページもあります。ぜひ、みなさまにご覧頂き、ご意見等を頂ければ幸いです。メールもお気軽にお寄せください。よろしくお願ひいたします。それと、不定期ですがメール通信も発行しています。ご希望の方はメールでお知らせください。</p>
<p>ご意見・ご要望をお寄せ下さい</p>	<p>区政に関するご意見・ご提案、小齊太郎への叱咤・激励等どんなことでも結構です。ぜひお寄せ下さい。お電話・FAX・e-mail等でお願ひします。</p>
<p>活動へのご協力をお願い申し上げます</p>	<p>当通信をできるだけ多くの方にお読み頂きたく、皆様の港区にお住まいのお知り合いをご紹介下さい。また、活動資金のご寄付を賜りましたら幸いです。紹介用の緑色の用紙と郵便振替用紙を同封させて頂きましたので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。(銀行振込の際は、「みずほ銀行 青山支店 普通預金 2344722 こさい太郎を育てる会」までお願ひ申し上げます) なお、すでにご協力頂いている際は、お許しください。</p>

きょうこのコラム

こさい太郎とは全く関係ないが、近頃私は“ギターを弾ける人になりたい!”と密かに思っている。
昔から実家には父のフォークギターがあり、わりと馴染みのある楽器ではあった。これまで特に気に留めることもなかったが、ここ数年弦楽器の優しい音色に心を動かされることが多くなり、ただ聴くだけでなく、自分も何か奏でてみたいといつか思うようになっていた。
お正月のテレビ番組で、歌手の森山良子さんがギターを片手に“涙そうそう(なだそうそう)”という曲をゆったりと唄っている姿に「この曲こんなにもいい詩だったのねえ〜。」と、ひとりでジーンとなった。
「私もこんなおばさんになりたい!」1年の計は何とやら、思い立ったが吉日で、やる気になった時の一瞬のエネルギーならおませあれ。でも、「何も今からそんなことやらなくてもいいだろ〜。どうせ3日坊主なんだから。」と誰かさんに反対されるのは目に見えている。そう確かに私は、3万円一括払いで申込んだ通信教育を途中で投げ出してしまった苦い経験の持ち主なのだ。とは言ったって、“こんな自分でありたい”とか“こんな人になりたい”といつも思いながら生きていく方が、人生もっと楽しいに違いないと感じる今日この頃。
このコラムに載せてしまったことを、いい意味でのプレッシャーにして、それでも気長にゆっくりと取り組んでみようと思う。
ギター的心得のある方、どこかでお目にかかったらどうか何でもアドバイスをお待ちしま〜す!

(きょうこ=小斉恭子=たろうの妻です)

使用済み切手やカードの行方は?

小斉太郎の後援会として、以前より使用済み切手やカードの収集をみなさんに呼びかけて参りました。これまで、非常に細々ですが、多くの方にご協力いただき、お預かりした使用済み切手やカードを港区社会福祉協議会を介し、さまざまなかたちで社会に役立ててきました。
この度は、当紙面に、それらの切手やカードが具体的にどのような形で社会に役立つのか紹介させていただきます。今後とも、みなさまのご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

◎書き損じはがき

年賀状や暑中見舞いの余りや書き損じのはがきの寄付を受け、郵便局で新しいはがきあるいは切手に交換し、社会福祉協議会が福祉団体等との通信のほか、事業の案内状、切手の礼状などに使っています。

◎使用済み切手

封筒に貼付された使用済み切手を集め、社会福祉法人「聖明園」(青梅市)、社会福祉団体「日本キリスト教会海外医療協力会」(新宿区)に送付し、特別養護老人ホームなどの運営資金や海外医療協力会の資金として活用されています。「聖明園」(特別養護老人ホーム)は、施設を改築したので、返済資金として、切手を収集しています。

なお、日本切手は1kg800円ぐらいだそうです。高齢者などボランティアにより、切手は、封筒の5ミリぐらいの余白を残して切り

取り整理されます。ボランティアは、毎日3〜6人程度で、この作業は、ボランティア活動の場、コミュニケーションの場、社会復帰の場として、10年以上続いています。



私のかかわるNPO 21世紀教育研究所

◎使用済みカード類

テレホンカードなど使用済みカード類(パチンコのカードを除く)は、社会福祉団体「日本キリスト教会海外医療協力会」に送付し、発展途上国への医療品や医療機器の購入資金又は派遣費用に役立てています。

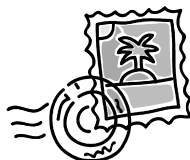
◎使用済みのカード類が何故お金になるの?

日本キリスト教海外医療協力会は、業者に一括して委託(売却)しています。流通経路はよく分かりませんが、最終的には、コレクター(日本だけでなく、ヨーロッパへも輸出している)の手に入るそうです。ただし、一括して受託する業者は、半分近くのある全く使い道がないカード類を廃棄する処分費を負担する条件で引き取るのとことです。

売価(傷がなく、換金可能なもの)は、テレカ 1円/枚、プリペイドカード 20銭〜40銭/枚だそうです。業者は、かなりの数は廃棄されます。

◎港社協の実績

- 平成13年度実額(見込み)
書き損じはがき 131件(約3,000枚)
使用済み切手 938件(約250万枚)
使用済みカード類 425件(約95,000枚)



21世紀教育研究所は、現代教育問題の調査/研究機関として1994年11月に設立されたNPOです。深刻な社会問題となり、適切な対応が求められている“不登校”“いじめ”“高校中退”“少年犯罪”には設立当初から積極的に取り組み、幅広い調査に基づいた具体的な情報を提供するとともに、電話/来訪による相談を通して個別のメンタルケアを行なっています。

この研究所は、これまで分断されがちだった、家庭、学校、地域社会、企業、市民団体、行政を結ぶネットワークとして機能することにより、官民の壁を超えた情報収集、相互連携、そして交流の場作りを目指しています。また、米国チャータースクールをテーマとした講演会や視察ツアーを実施するなど、新しい教育のあり方を模索する活動にも取り組み始めています。

日本国内では、このところ「教育特区」が注目されておりますが、今年は「教育改革元年」ともいえるほどに、これまで各地でおこなわれつつある新しい教育実践が大きくクローズアップされるはずで

す。私は、このNPOを通じて幅広く教育問題についての情報を吸収しています。先般、港区が国の構造改革特区の提案募集に対し「公設民営のインターナショナルスクールの設置」という提案をしました。これも、私たちの日頃の主張が取り入れられたものではないかと自負しています。

今後とも、21世紀教育研究所の活動に協力しながら、情報収集や研鑽を深めていきたいと考えています。

21世紀教育研究所のサイト
<http://www.edu21c.net/>